



# システムズアプローチ入門

システムズアプローチとは、「さまざまな要素が相互作用している全体」とされるシステムというものの見方とそれに基づく方法論を用いた臨床実践のアプローチです。本ワークショップは、システムズアプローチの入門コースとなります。これから本格的にシステムズアプローチを実践したいという方や、もう一度システムズアプローチの基本を学び直したいと考えている方、定期研修への参加をご希望されている方を対象とした、基礎ポイントの理解と臨床実践に向けての内容となっております。

システムズアプローチを実践する上では、「システムとしてものごとを捉える」「枠組みとパターンとして考える」「起こっている出来事を相互作用的に捉え、それらがどうつながり、関わりあっているかを考えていく」といった特殊なものの見方・認識論が必要となります。こうしたものの見方とそれに基づく実践を行うには、ロールプレイなどの体験的な学習を繰り返すことで可能となります。本ワークショップでは、システムズアプローチを学ぶ上での入り口となるポイントを、講義とワークを通して学習し、実践に向けての一步を始めることを目的とします。

## ◇入門コースの内容◇

☆システムというものの見方とは？：「システム」「枠組み」「パターン」などの基礎概念と、様々な要素がどうつながり、関わりあっているかを考えていくということ。

☆システムズアプローチによるセラピーとは？：システムズアプローチの治療過程やその目的、問題の解決、クライアントや家族のニーズについての考え方。

☆具体的な事例の解説を通して、ものの見方の用い方とその実際の学習。

☆実践に向けてのワーク：実際の事例をどう扱うか？ロールプレイによる学習など。



◇参加条件：システムズアプローチに関心があり、臨床実践を行っている方

(職種は問いません。大学院生も可)

◇日時：2014年1月12-13日(日・月・祝) 10:00~17:00

◇会場：12日は板橋区立文化会館第1会議室、13日は板橋区立グリーンホール404会議室

<http://www.itabun.com/index.html> (東武東上線「大山」駅または都営三田線「板橋区役所」駅徒歩5分程度)

◇講師 中野真也(心理技術研究会 世話人代表) ◇参加費：二万円 ◇定員8名

◇申込み方法：下記メールアドレスに、①お名前、②ご所属、③職種、④これまでのシステムズアプローチや家族療法などの研修・学習経験(なくても可)、を明記の上、お申込みください

shinrigijyutukenkyukai15@yahoo.co.jp



\*ご参加にあたっては、なるべく下記の参考文献に目を通しておいってください

- ・吉川悟 家族療法 システムズアプローチのものの見方 ミネルヴァ書房 1993
- ・東豊 家族療法の秘訣 日本評論社 2010
- ・東豊 セラピスト入門 日本評論社 1993

